

「東京都女性活躍推進計画 令和2年度取組実績」

13 一般社団法人日本私立大学連盟

「東京都女性活躍推進計画」記載の内容		令和2年度取組実績
領域Ⅰ 働く場における女性の活躍		
① 均等な雇用機会と女性の職域拡大・登用促進		
ア ポジティブ・アクションの推進		
2	<p>私立大学における組織運営・経営面での活性化、構成員の意識改革、制度改革の格段の進展を企図して、シンポジウム等の開催を通じ、男女共同参画を推進するための指針(規則・規程)等の制定、組織や委員会等の設置の必要性の啓発を行います。</p> <p>シンポジウム等の開催を通じ、加盟大学における積極的改善措置(ポジティブ・アクション)に係る事例報告を通じた情報の共有を行います。</p>	<p>○当法人の機関誌である『大学時報』を通じて、会員法人(加盟大学)における事例を紹介する原稿を掲載する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、記事への差し替えが多数発生したため、本年度は事例を紹介するような原稿の掲載を見送った。</p>
⑦ 普及啓発活動の充実		
ア 情報の提供		
18	<p>☆当連盟の会員法人において、多くの大学がダイバーシティの宣言や、LGBTの相談室の設置に取り組み始めていることから、ダイバーシティ&インクルージョン教育はどう展開すべきか、その試みを情報提供し、議論する機会を作ります。</p>	<p>○当法人の機関誌である『大学時報』を通じて、会員法人(加盟大学)における事例を紹介する原稿を掲載する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、記事への差し替えが多数発生したため、本年度は事例を紹介するような原稿の掲載を見送った。</p>
19	<p>男女共同参画推進のための環境整備を図るための諸課題について、検討成果を加盟大学に還元するとともに、加盟大学における先進的な取組に係る情報の共有を図るため、シンポジウムを開催します。</p>	<p>○当法人の機関誌である『大学時報』を通じて、会員法人(加盟大学)における事例を紹介する原稿を掲載する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、記事への差し替えが多数発生したため、本年度は事例を紹介するような原稿の掲載を見送った。</p>
領域Ⅱ 女性も男性もいきいきと豊かに暮らせる東京の実現		
1 生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)の実現		
④介護に対する支援		
イ 介護と仕事の両立が可能な環境づくりの促進		
29	<p>シンポジウム等の開催を通じ、加盟大学における介護支援制度の必要性の啓発を行います。</p>	<p>○令和2年5月に刊行した「私立大学理工系分野の研究基盤の強化と向上—科学技術イノベーションの推進に向けて—」において、「女性研究者の活躍促進」のための提言として、1)育児休業中及び復帰後の研究継続の支援、2)保育施設の整備並びに保育施設利用への支援、3)児童期の子育て支援、4)介護に関する支援、を政府に要望した。</p>

3 男女平等参画を推進する社会づくり

③教育・学習の充実

ア 学校での男女平等

37

シンポジウムの開催等を通じ、男女共同参画社会の実現を担う次世代育成に係る事例報告を通じた情報の共有を行います。

○当法人の機関誌である『大学時報』を通じて、会員法人(加盟大学)における事例を紹介する原稿を掲載する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、記事への差し替えが多数発生したため、本年度は事例を紹介するような原稿の掲載を見送った。

39

当連盟における「財務・人事担当理事者会議」において、多様な働き方や女性研究者のサポート等をテーマに協議します。様々な事例をもとに、加盟校に情報提供し、議論の機会をつくります。特に科学分野で学ぶ女性が少ないことから、その先進的な取組を紹介します。

○「財務・人事担当理事者会議」において、「働き方改革」や「大学職員の柔軟な働き方について」というテーマに基づいた会議をオンラインにて開催し、「長時間労働の是正」や「同一労働同一賃金」への課題の共有や今後の取り組みに向けた会員法人間の意見交換を行った。
○令和2年5月に刊行した「私立大学理工系分野の研究基盤の強化と向上ー科学技術イノベーションの推進に向けてー」において、「女性研究者の活躍促進」のための提言として、1)育児休業中及び復帰後の研究継続の支援、2)保育施設の整備並びに保育施設利用への支援、3)児童期の子育て支援、4)介護に関する支援、を政府に要望した。

推進体制

ア 都民・事業者における体制

59

男女共同参画推進のための環境整備を図るため、その実現に向けた諸課題について検討します。

○大学から幼稚園の私学団体で構成する全私学連合としてとりまとめる『令和3年度私立学校関係政府予算に関する要望』において、大学関係予算に関する要望の「重点要望項目」の「科学技術イノベーションの基盤的な力の強化に向けた支援の拡充・強化」において、「女性の活躍推進のための支援」を掲げ、1)科学技術イノベーションを推進する女性の理工系人材育成のための支援、2)学業や研究の両立のための支援」を政府に要望した。